

人類学普及委員会 初等中等教育で人類進化をどのように教えるか：
副読本「つい誰かに教えたくなる人類学63の大疑問」の活用法

11月5日 E会場 15:00-16:40

オーガナイザー：松村 秋芳（防衛医大・生物）

「つい誰かに教えたくなる人類学63の大疑問」（講談社刊、中山一大・市石 博編、日本人類学会教育普及委員会監修）が、2015年秋に刊行されてから2年が経過する。本書は、素朴な63項目の疑問を通して自然人類学の最新成果を紹介するという手法で、生き物としてのヒトについて学ぶことの楽しさを広く一般に伝えることを目的として企画された。同時に初等中等教育に携わる教師の参考書や副読本として活用されることが期待された。今回のシンポジウムでは、本書の中に取りあげられた内容を授業のさまざまな場面において、いかに効果的に活用していくかについて、最近実際に行われた授業のいくつかの例を参考にしながら考えたい。

S11-1 生物教育に人類学の視点を／市石 博（都立国分寺高）

S11-2 人類進化を小学生に教えるには―博物館子ども講座と出張授業の実践から―／広谷 浩子（神奈川生命地球博）

S11-3 「つい誰かに教えたくなる人類学63の大疑問」を使用した人類学教育の例／中山 一大（東京大・新領域）

コメンテーター：宮本 俊彦